

成果の説明書

(氏名) 永田 瞬

(学部) 経済学部

1 重要事項

◆研究活動

2015年度は、採択された科学研究費補助金をもとに、繊維中小企業における技能の社会的評価に関する調査研究を行った。中小企業団体への聞き取り調査(8/1)や同一価値労働同一賃金/職務評価に関する研究会(10/24)を開催することができた。また、繊維中小企業における外国人労働力活用実態に関する研究成果のとりまとめを行い、法政大学大原社会問題研究所叢書として公表した。それ以外には、高崎経済大学地域科学研究所の製造業プロジェクト(研究代表:西野寿章 地域政策学部教授)の調査研究活動の一環として、高崎商工会議所での聞き取り調査(12/11)を行った。

発表原稿

「児島繊維産業における人材育成の課題—技能実習生活用のジレンマ」法政大学大原社会問題研究所・相田利雄編『サステイナブルな地域と経済の構想—岡山県倉敷市を中心に』御茶の水書房、2016年2月、79-105頁。

「中小企業への伴走型支援活動—高崎商工会議所での聞き取り調査記録」高崎経済大学地域科学研究所編『産業研究』51(1・2)、2016年3月、87-94頁(井上真由美氏との共著)。

口頭発表

「繊維中小企業における外国人労働力の活用について—計算できる労働力から不確実な労働力への転換—」福田泰雄先生退官記念研究合宿(伊豆多賀温泉)、2016年3月5日。

◆教育活動

通常の講義と演習活動に加えて、対外的な活動として次のような企画の運営を行った。はちみつ工房の見学(6/4)、天羽ゼミとの合同発表会(7/4)、岐阜大学との合同ゼミ合宿(12/12-12/13)、高崎経済大学経済学会の助成を受けた憲法の講演会(2/3)、卒業論文発表会(2/12)、前橋協立病院での現場実習(2/16、2/18)。

2 その他の事項

◆出前講義等

オープンキャンパス模擬授業(「若者と雇用—ブラック企業問題を構造的に捉える」7/19)、教員免許更新講習(「若年層の雇用問題と学校教育の課題」「ブラック企業問題と労働時間規制」8/11)、群馬県立桐生高校での出前講義(「若者と雇用—ブラック企業時代に大学で何を学ぶのか?」12/9)など行った。またラジオ高崎のラジオゼミナールで「若年層を中心とした雇用問題の課題」「ゼミ活動について」について話題提供を行った(12/26、1/2放送)。

◆その他講演

日本科学者会議群馬支部春季セミナー(『ブラック企業問題と対策』をめぐって)6/24)、安保関連法案廃案を求めるGUNMA若者緊急行動主催シンポジウム(「安保関連

法案と格差・貧困」8/30)、青年法律家協会群馬支部学習会(「労働時間規制の適用除外の何が問題か?—雇用問題への政治経済学的アプローチ」9/4)などで講演を行った。

3 次年度以降の計画・抱負

2015年度から新たな科研費調査に着手したものの、当初の予定通りには進まなかった。その理由のひとつとして、前年度から引き続き行った外国人労働者の受け入れに関する調査研究のとりまとめに時間を要した点があげられる。今後は、繊維中小企業の職務評価に関して中小企業団体、その他関係者に協力を依頼し、アンケート調査や聞き取り調査の準備を進めていく。また、地域科学研究所の製造業プロジェクトについても群馬県内・高崎市内の中小企業を対象に調査研究活動を行っていく。